

■自然環境調査員の活動

自然環境調査

調査日：月1回

- ・調査日を定めるか、調査員ごとに実施するか

調査方法：

- ・班を作って調査するか、調査員ごとに実施するか

調査対象：

- ・調査項目をどのように定めるか（生物指標をつくる） →生物多様性を考慮
- ・植物・昆虫・鳥・魚・樹木

自然観察会

日時：

- ・年6回程度

内容：武蔵台公園、浅間山公園、水と緑のネットワークウォーキングツアー、
多摩川河川敷（ツバメの集団ねぐら観察会、野鳥観察会） など

・

※学習会は、委員の知識向上のため、講師を招いて実施する事業。

生物多様性の保全に関する取組みへの協力

- ・調査記録及び自然観察会開催
- ・生物多様性の保全に関する施策への協力

市民桜まつり（PRコーナー）

・

府中環境まつり（鳥の巣箱作りコーナー）

- ・鳥の巣箱作りコーナー（府中環境まつり（6月））への協力

府中環境まつり（自然保護啓発）

- ・身近な生きものの紹介（自然保護啓発）

■自然環境調査（案）

	調査地	植物	昆虫	鳥	魚	樹木	調査日	担当調査員
1	浅間山公園	○	○	○	—	○		
2	多摩川大丸堰周辺	○	○	○	△	○		
3	郷土の森公園	○	○	○	—	○		
4	東京農工大学	○	○	○	—	○		
5	武蔵台公園	○	○	○	—	○		
6	四谷樹林地周辺	○	○	○	—	○		

その他の候補地

- ・南町の水田
- ・押立町の水田
- ・多磨霊園
- ・けやき並木